



が筑波大生の質問にオンラインで答えてみた

本企画は、筑波大生の生活・学習・研究に関する疑問や悩みごとについて、事前に質問を募り、それに対して、大学院生のラーニング・アドバイザー（LA）がお答えしていくというものです。座談会形式で質問に答えていく様子を収録し、動画を YouTube に公開しました。

今回は、COVID-19 の影響により対面で誰かに質問・相談することが難しいと感じている筑波大生を主な対象としました。そうした方々に対して日ごろの困りごとや悩みを共有する場を提供するとともに、回答を YouTube で公開することによって多くの人がアクセスできるようにしました。また、オンライン企画としたことで、筑波大生の皆さんに広く LA の存在を周知することも図りました。



※LA とは、中央図書館本館 2 階 学生サポートデスクで学習相談の活動をしている大学院生です。

質問の募集は Google フォームを利用しました。2 週間弱という短い募集期間の中で、12 件のご質問をいただきました。内容はさまざまでしたが、大きく①「研究テーマ・進路」、②「レポート執筆について」、③「資料の探し方」と分けて、回答および収録を行いました（動画の内容の詳細は次ページにあります）。また、個別の回答を希望されていた方に対しては、後日メールで回答をお送りしました。



回答は、質問に対して 1 対 1 形式で答えるというよりも、質問の内容をテーマとしてそれぞれの LA が自分の考えていることをその場で発言し、適宜議論をするという形でまとめました。

実は、LA の 7 名もミーティングを通して数回顔を合わせただけで、収録の時点ではほとんど初対面といった状態でした。もしかすると、動画の節々にぎこちなさが垣間見えるか

もしれません。それでも、いざ研究や論文に関する質問となると、それぞれ回答に熱が入り、最終的には予定の収録時間ギリギリまで話し込んでしまいました。

LA の専門分野は、数学・工学・農学・教育学・政治学・芸術学・言語学と多岐に渡ります。そのため、LA 同士でも、回答に対して「あるある」と共感し合うだけでなく、「えっ、そうなの」と分野による違いに驚くような場面もありました。動画をご覧になる際には、そうした生の反応を見るのも面白いかもしれません。

最後に、本企画に対してご質問をお寄せくださった方、すでに動画をご視聴くださった方、誠にありがとうございました。まだ動画をご覧になっていない方も、学生サポートデスクの YouTube チャンネルからアクセスし、LA の率直な回答をぜひ聴いてみてください。

動画をご覧になって、「レポートを書くための具体的なアドバイスが欲しい」、「自分も卒論や研究に関して質問したい」、「進学について少し経験を聞いてみたい」といった方は、中央図書館 2 階の「学生サポートデスク」まで、お気軽にお越しください。動画の内容に関するお問い合わせ等もご対応いたします。また、今年度からは、対面での相談に加えて、オンライン相談も開始しています。詳しくは図書館の Web ページをご覧ください。

動画の内容

第一弾「研究テーマ・進路」（1 月 6 日公開）	
(1) 研究テーマの見つけ方 (2) モチベーションの保ち方 (3) 進路の選択について	
第二弾「レポート執筆について」（1 月 12 日公開）	
(1) レポートと卒論の違い (2) レポート作成の段取り	
第三弾「資料の探し方」（1 月 15 日公開）	
(1) 図書館の活用方法 (2) 資料の良し悪しの判断 (3) プレゼン資料を作るコツ (4) LA になった動機 (5) 面白いタイトルの論文	

学生サポートデスクの Web ページ
<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/ja/support/la>
 # 今年度の活動は 2 月 16 日(火)まで

学生サポートデスクの YouTube チャンネル
 「UnivTsukubaLibrary-StudentSupportDesk」
<https://www.youtube.com/channel/UCK8ZZOx19VxL2WS-dJXQ-Mg>

